

令和7(2025)年度 比治山大学・比治山大学短期大学部数理・データサイエンス・AI教育プログラム 自己点検・評価

自己点検・評価体制における意見等

自己点検・評価の視点	自己点検・評価体制における意見・結果・改善に向けた取組等
学内からの視点	
プログラムの履修・修得状況	<p>教学委員会及び数理・データサイエンス・AI教育プログラム部会において本プログラムの履修・単位修得状況を分析している。授業担当者が履修者の課題提出状況等を把握し、単位修得に向けた支援・働きかけを行っている。</p>
学修成果	<p>「教育研究開発センター」「評価・IR部門」において本プログラム履修者全員を対象として実施している「授業に関するアンケート」のうち、「Ⅲ 成果について」の「④ 自分の将来に役立つ内容であった」「⑤ 全体的に満足している」の項目を分析することにより、学生の学修成果を把握している。教学委員会及び数理・データサイエンス・AI教育プログラム部会と情報共有して本プログラムの評価・改善を図っている。</p>
学生アンケート等を通じた学生の内容の理解度	<p>「教育研究開発センター」「評価・IR部門」において本プログラム履修者全員を対象として実施している「授業に関するアンケート」によって学生の内容の理解度を把握している。この結果により授業担当者が学生の状況を把握し、「課題」「改善」に関するコメントを作成して情報共有している。</p>
学生アンケート等を通じた後輩等他の学生への推奨度	<p>令和6(2024)年度入学生から、「情報リテラシー」に加えて「データサイエンス入門」を全学必修科目とした。「教育研究開発センター」「評価・IR部門」において本プログラム履修者全員を対象として実施している「授業に関するアンケート」により、後輩等他の学生への推奨度を把握している。この結果により授業担当者が学生の状況を把握し、「課題」「改善」に関するコメントを作成して情報共有している。</p>
全学的な履修者数、履修率向上に向けた計画の達成・進捗状況	<p>令和6(2024)年度入学生から、「情報リテラシー」に加えて「データサイエンス入門」を全学必修科目とし、履修者数・履修率の向上を図った。学年進行により、短期大学部は履修率100%、大学は50%となった。</p>
学外からの視点	
教育プログラム修了者の進路、活躍状況、企業等の評価	<p>卒業後3年程度経過した卒業生を対象とした「卒業後アンケート」、本学学生の採用実績を有する企業等を対象とした「就職先アンケート」により、本プログラムを修了した卒業生の活躍状況、企業からの評価を把握する仕組みを設けている。</p>
産業界からの視点を含めた教育プログラム内容・手法等への意見	<p>地域の経済界の状況を把握している中国経済連合会常務理事に「外部アドバイザー」を委嘱し、本プログラムの教育内容・運用状況について意見を求め、評価・改善を図っている。</p>
数理・データサイエンス・AIを「学ぶ楽しさ」「学ぶことの意義」を理解させること	<p>「教育研究開発センター」「評価・IR部門」において本プログラム履修者全員を対象として実施している「授業に関するアンケート」によって学修の意義についての理解度を把握している。これらの結果により授業担当者が学生の状況を把握し、「課題」「改善」に関するコメントを作成して情報共有している。</p>
内容・水準を維持・向上しつつ、より「分かりやすい」授業とすること	<p>「教育研究開発センター」「評価・IR部門」において本プログラム履修者全員を対象として実施している「授業に関するアンケート」結果をふまえ、より「分かりやすい」授業とするため、授業担当者が「課題」「改善」に関するコメントを作成して情報共有している。</p>